I·O DATA

RSA-CF1 セットアップガイド

B-MANU200068-01

本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。

本製品のその他の基本操作、Q&Aなどについては、添付の「サポートソフト」内にあるオンラインマニュアルをご覧ください。

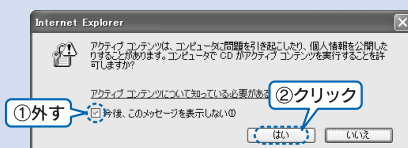
オンラインマニュアル起動方法

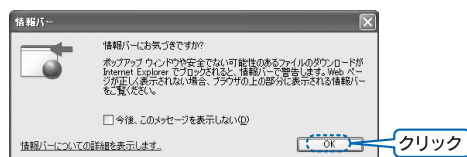
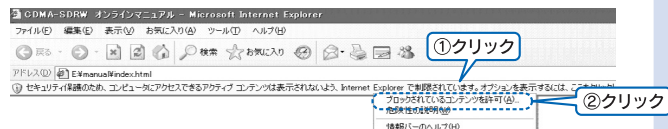
■Windowsの場合
①サポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。
②[オンラインマニュアル]をクリックします。

■Macの場合
①サポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。
②[manual]→[index.html]を順にダブルクリックします。

※オンラインマニュアル以外でも弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/support/)にてQ&Aを用意しております。
本製品が正常に動作しない場合はそちらもご覧ください。

Windows XP Service Pack 2について

Windows XPにService Pack 2をインストールした環境でオンラインマニュアルを表示させると、以下のメッセージが表示される場合があります。その場合、次の操作を行ってください。
[今後、このメッセージを表示しない]のチェックを外し、[はい]ボタンをクリックします。
⇒オンラインマニュアルの最初の画面が表示されます。

[いいえ]ボタンをクリックした場合

下の画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。⇒オンラインマニュアルが表示されます。

この場合、一部の機能が正しく動きません。情報バーをクリックし、表示された[ブロックされているコンテンツを許可]をクリックしてください。
⇒オンラインマニュアルが正しく動きます。

※図は実際とは多少異なる場合があります。

1 インストールする

Windowsのみ必要です。Windows CE、Mac OS、Mac OS Xでは不要ですので、2に進んでください。

●ここでは、ご使用のOSに本製品のドライバソフトをインストールします。

ここではまだ本製品をパソコンに接続しないでください。

下記の作業は、本製品をパソコンに挿入しない状態で行います。本製品の挿入は、下記の作業の後に行います。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。
※デスクトップ画面が表示されるまでお待ちください。

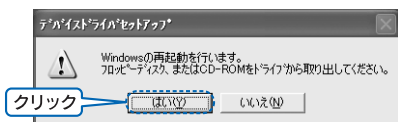
Windows XP/2000の場合
コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

2 「サポートソフト」ディスクをCD-ROMドライブにセットします。

3 以下の画面が表示されます。
「RSA-CF1デバイスドライバ」をクリックします。

この画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]→CD-ROMドライブ→[AUTORUN]の順にダブルクリックすれば表示されます。

4 「インストール」を選択して[OK]ボタンをクリックし、画面の指示にしたがってインストールします。

5 以下の画面が表示されましたら、CD-ROMを取り出して、[はい]ボタンをクリックします。

以上で、インストール作業(ドライバのインストール)は終了です。→パソコンが再起動されます。
【2 パソコンに接続する】へお進みください。

2 パソコンに接続する

●本製品をパソコンに接続します。

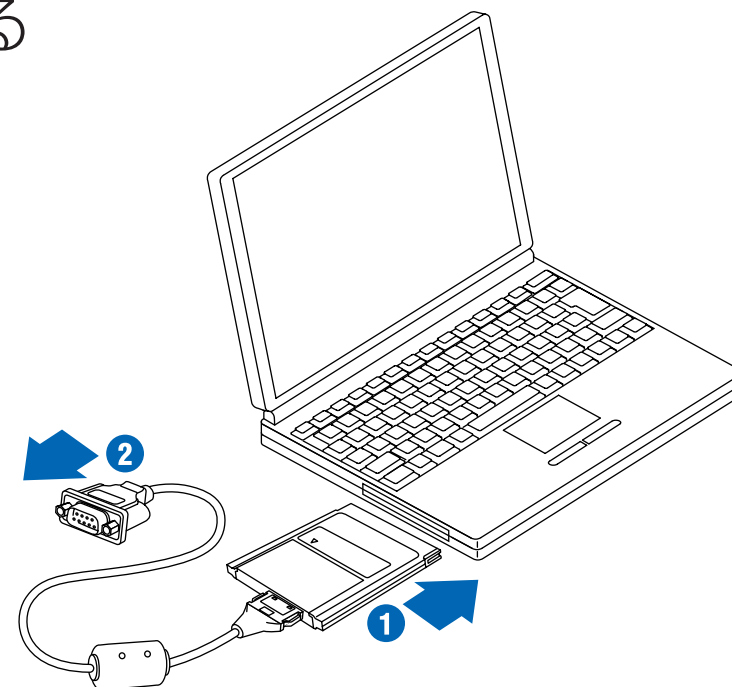
再起動後、デスクトップ画面が表示されていることを確認し、本製品とパソコン、本製品とRS-232Cの周辺機器の順に接続します。

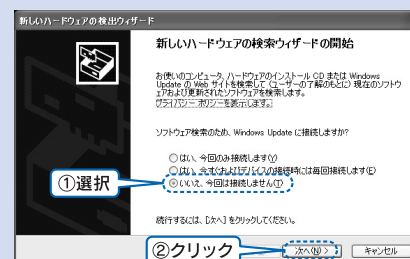
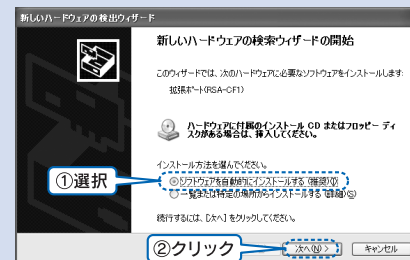
Windows XPの場合

追加作業が必要です。
以下の【Windows XPでの追加作業】を行ってください。

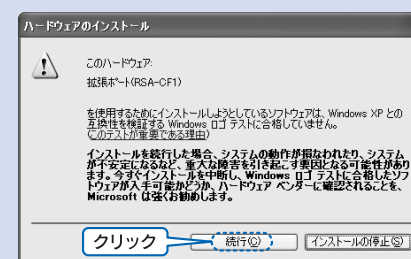
Windows XP以外のOSの場合

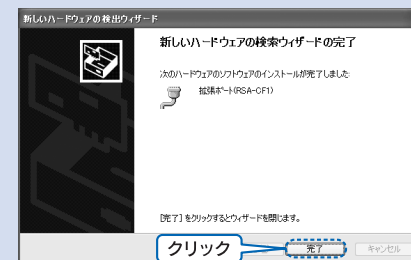
以上で、取り付けは終了です。
裏面の【3 接続後の確認】へお進みください。

本製品の接続時に「必要なソフトウェアが見つかりません」または「必要なドライバが使用できません」と表示された場合は…
→オンラインマニュアルの[困ったときには]をご覧ください。

Windows XPでの追加作業

Windows XP SP2では以下の画面が表示されます。この場合は「いいえ、今回は選択しません」を選んでください。

1 PCカードスロットに接続後、以下の画面が表示されます。「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選んで、[次へ]ボタンをクリックします。

一度取り付けて正常にインストールが終了したPCカードスロットに、再度取り付けても上記画面は表示されません。ただし、インストールが終了していない状態で上の画面が表示されない場合は以下の原因が考えられます。

原因 本製品がPCカードスロットに正しく取り付けられていない
→確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。
→取り付けるPCカードスロットを変更してお試しください。
→オンラインマニュアル[困ったときには]もご覧ください。

2 以下の画面が表示されますが、[続行]ボタンをクリックします。

注意 弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社はWHQLという組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。このたびお買い上げ頂いた製品は認定を受けておりません。

3 [完了]ボタンをクリックします。

以上で、追加作業は終了です。
裏面の【3 接続後の確認】へお進みください。

裏へ続く

3 接続後の確認

●ここでは本製品が正しく接続されていることの確認を行います。

Windowsの場合

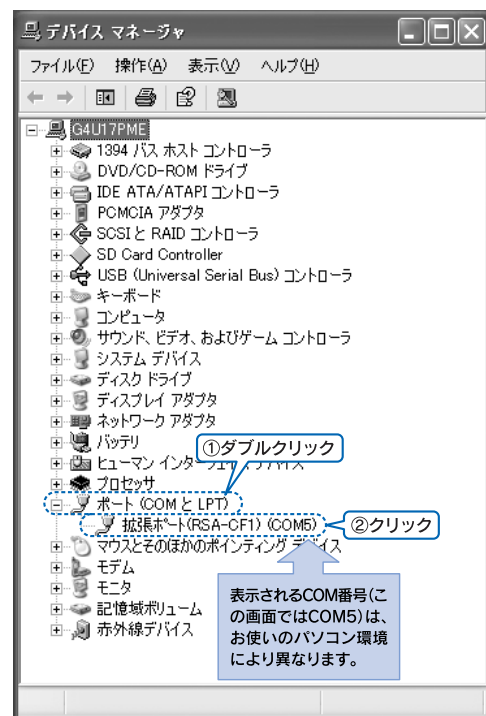
❶ [マイコンピュータ]を右クリック※し、表示された[プロパティ]をクリックします。
※Windows XPの場合は[スタート]をクリック後、[マイコンピュータ]を右クリック

❷ [ハードウェア]タブをクリック後、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。
(Windows XP/2000の場合のみ)
※Windows Me/98の場合は、この手順はありません。
そのまま❸へお進みください。

❸ [デバイスマネージャ]画面([デバイスマネージャ]タブ)で[ポート(COMとLPT)]をダブルクリックし、以下が表示されているかを確認します。
[拡張ポート(RSA-CF1)(COMx)]※
※COM番号はお使いのパソコン環境により異なります。

❹ 確認後、画面を閉じます。
本製品にモデムやTAを接続し、モデムやTAのプロパティでCOMポートの選択を[拡張ポート(RSA-CF1)(COMx)]にして、シリアルポートをご活用ください。

[拡張ポート(RSA-CF1)(COMx)]が表示されていない場合
→オンラインマニュアル【困ったときには】を参照してください。

これで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。

●本製品のCOM番号は、お使いのパソコンで現在未使用(未登録)のCOM1以降の番号に、小さい順に自動的に割り当てられます。
(COM番号はお使いのパソコン環境により異なります。)COM番号を変更する場合は、オンラインマニュアル【COMポート番号の変更手順】をご覧ください。
●[デバイスマネージャ]画面で、[拡張ポート(RSA-CF1)(COMx)]をダブルクリックすると、より詳しい設定を行うことができます。ここでは、本製品に接続したモデムやTA等の設定が優先されますので、モデムやTA等の設定をご確認ください。
●本製品に接続するPnP機器(モデム等)は自動検出されない場合があります。
その場合、手動にてモデムやTAのシリアル機器をインストールしてください。

●Windows CEの場合
Windows CEの場合は簡単な動作確認を行うためのソフトウェアがあります。詳しくはオンラインマニュアルの「Windows CE専用ソフトウェア」をご覧ください。

Mac OS 9の場合

●ここでは本製品がMacintoshで正常に接続されていることを確認します。

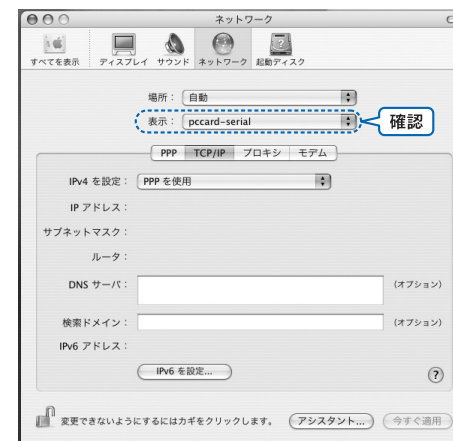
❶ [Apple]メニュー→[コントロールパネル]→[モデム]をクリックします。

❷ [経由先]に[RSACF1]※と表示されていることを確認してください。
※自動的に表示されない場合があります。その場合は、一覧からRSA-CF1を選択してください。

これで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。

Mac OS Xの場合

❶ [Apple]メニュー→[システム環境設定]→[ネットワーク]をクリックします。

❷ [表示]に[pccard-serial]と表示されていることを確認します。
※自動的に表示されない場合があります。
その場合は、一覧から選択してください。一覧にも[pccard-serial]が組み込まれていない場合には、今すぐ適用ボタンをクリックしてください。
次に一覧にある「ネットワークポート設定」をクリックし、[pccard-serial]を「入」に設定してください。

使用上のご注意

●サポートソフトCD-ROM内の「README.TXT」やオンラインマニュアルもお読みください。

●本製品は、COMポートに直接アクセスするタイプのアプリケーションでは使用できません。(MS-DOSアプリケーションや16ビットアプリケーション等)

●シリアル接続のPnP機器(モデムやTA等)は自動検出されない場合があります。その場合は、お使いのPnP機器の取扱説明書を参照の上、手動で行ってください。
また、モデムやTAに添付されている専用ユーティリティは使用できない場合があります。

●パソコンにOSをインストールする際は、本製品を取り外した状態で行ってください。

●Macintoshでご使用の場合、RS-232Cで接続する周辺機器(デジカメやプリンタなど)においてデータ転送用アプリケーションソフト側で拡張RS-232C接続に対応していない場合があります。その場合はご使用いただけませんのでご注意ください。

●RS-232C側に接続する機器がD-sub25ピンの場合、別途市販の変換コネクタをお買い求めください。

●スタンバイ、サスペンド、休止状態、スリープなどには対応しておりません。

●MacintoshやWindows CEでご使用の場合、本製品を複数個同時に使用することはできません。
(Windowsでは同時に2枚まで使用可)

●シリアルポートから電源供給を必要とするRS-232Cで接続する周辺機器への接続はできません。

●本製品の9ピンコネクタは、全結線されたストレートタイプです。接続するシリアル機器によっては、シリアル機器に同梱されたシリアルケーブルや専用ケーブルを併用しないと正しく動作しない場合があります。